

# 平成30年度事業報告書

現在、急速に進む少子高齢社会の中で、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加、家族や地域社会との交流の希薄化等、地域におけるお互いに支え合う機能の低下が顕著化してきております。この様な状況において本会では、「しあわせづくりプラン2014」（秋田市地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉活動の推進に努めました。また、平成30年度が最終年度となる「しあわせづくりプラン2014」の達成状況の確認や評価をし、これからの地域福祉活動を展開するため、「秋田市地域福祉アクションプラン2019」（実施期間：平成31年度～令和5年度）を策定しました。

地域福祉活動の推進については、これまで行ってきた見守りネットワーク事業、地域サロン事業、介護予防事業などの地域福祉活動の充実強化を、地区社協と連携しながら事業の推進に努めました。また、地区社協の組織強化と活動の更なる充実のため、地区社協の拠点づくり・事務機器整備支援事業や研修会支援事業等を継続実施しました。

昨年5月には一昨年続き大雨被害に見舞われましたが、秋田市民生児童委員協議会や地区社協に見守りや情報提供の協力、県内外ボランティアの方々や各種団体の協力により被災世帯の復旧作業などの支援を行うことができました。しかしながら、全国各地で頻発する災害や、2年連続の大雨被害の実際の活動を通じて災害ボランティアセンターの運営、被害状況やニーズの把握など、様々な課題が見え、今後更に検討すべきことを確認しました。

生活福祉支援については、生活困窮世帯などへの資金貸付や緊急食支援により自立支援を行うとともに、フードバンクへ協力し、更なる生活困窮世帯への支援の充実強化に努めました。

また、改正社会福祉法により全ての社会福祉法人は、地域における公益的な取り組みの実施が義務付けられました。本会では、「秋田市地域福祉おむすびネット」への参加の呼びかけなど、社会福祉法人との連携により地域の課題解決と地域福祉力の強化に努めました。

その他、平成30年度事業計画に対する取り組みについては、別紙のとおり報告します。

# 1 地域福祉活動推進事業

## (1) ふれあい福祉相談センター事業

- ・相談体制 相談員 3 名 (1 日 2 名体制)
- ・開設日数 244 日 (週 5 日 [月～金]、午前 9 時～午後 4 時)
- ・相談件数

単位:件

	生	年	職	住	家	結	離	健	医	精	人	財	事	児	教	心	母	老	苦	人	日	ひ	そ	合
	計	金	業・ 生業	宅	族	婚	婚	康 衛 生	療	神 保 健	権 法 律	産	故	童 福 祉	育 青 少 年	身 障 が い	子 父 子	人 福 祉	情	間 関 係	常 生 活	き こ も り	の 他	計
当年度	31	7	139	10	79	0	6	57	37	235	4	17	7	1	6	137	3	48	3	42	228	3	102	1,202
前年度	30	1	122	33	70	0	5	34	34	314	8	8	4	1	1	110	3	39	4	43	217	3	107	1,191

※下記「無料法律相談」の件数は上記相談件数に含まない。

- ・弁護士による無料法律相談 ※ ( ) 内は前年度実績

毎月第 3 月曜日 秋田市老人福祉センター (協力:秋田弁護士会)

単位:件

件数	相談内訳						合計
	家庭	金銭	不動産	交通事故	相続	その他	
52 (59)	8 (15)	13 (8)	10 (16)	1 (0)	14 (13)	7 (9)	53 (61)

※一回に複数の相談内容があったため、件数と相談内訳の合計は異なる。

- ・弁護士による無料法律相談の開催予定を広報あきたに掲載し、周知した。

## (2) 見守りネットワーク事業 ※ ( ) 内は前年度実績

- ・地域の見守りが必要な世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ・訪問活動を行った。

実施地区	38 地区 (38)
------	------------

- ・「見守りネットワーク事業の手引き」を活用し、見守り体制の充実を図った。

## (3) 救急医療情報キット (安心キット) 事業

各関係機関や見守りネットワーク事業と連携しながら、救急医療情報キット事業 (安心キット事業) の更なる推進を図った。

- ・安心キットの設置世帯数 12,779 世帯 (平成 29 年度末)
- ・安心キットの活用件数 24 件 (平成 30 年 1 月～12 月、秋田市消防本部から情報提供)
- ・安心カードの更新について検討した。
- ・安心キットの啓発に努めた。
  - (ア) 複数の冊子等に安心キットを掲載した。(障がい者のためのくらしのしおり、暮らしに役立つサービス等)
  - (イ) マグネットフックを利用した設置方法を周知した。
  - (ウ) チラン等を配布した。
- ・事業の円滑な運営等を図ることを目的として推進会議を開催した。
  - 開催日 平成 31 年 2 月 7 日 (木) 秋田市老人福祉センター 出席者 16 人
  - 案件 安心キット事業の実施状況について  
安心キットの活用状況について  
今後の課題等について意見交換

(4) 災害時のたすけあいの仕組みづくり

・災害時における地域でのたすけあいの仕組みづくりのために、日ごろの見守り活動や地域サロン事業の推進を図り、また、地域での避難訓練のための災害関連機器を貸出するなど支援に努めた。

(5) 地域元気アップ事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・地域の高齢者を対象として「地域元気アップ事業」を実施した地区社協に対して助成金を交付し、介護予防や孤立予防の推進を図った。

(ア) 健康づくり・生きがいくくり支援事業

助成金交付 38 地区 15,797,777 円 (38 地区 15,797,683 円)

・軽スポーツ ・趣味活動 ・健康づくり ・交流事業 ・その他

(イ) 地域サロン事業

助成金交付 37 地区 2,395,000 円 (37 地区 2,370,000 円)

(6) 福祉協力員の設置および活動の推進 ※ ( ) 内は前年度実績

・各地区社協の地域福祉活動に協力する町内会単位の福祉協力員設置の推進を図った。

設置地区数	34 地区	(35)
福祉協力員数	1,205 人	(1,179)

・3 地区社協の福祉協力員等研修会へ参加し、福祉協力員について理解を深めてもらった。

(7) 地域福祉活動合同研修会の開催

開催日 平成 30 年 7 月 6 日 (金)

会場 秋田市文化会館 大ホール

参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、一般市民等 約 400 人  
(前年度 約 600 人)

内容 講演 「地域で支えること」を考える

講師 八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 准教授 吉田 守美 氏

事例発表 I 「下北手地区における地域サロンの歩み」

下北手地区社会福祉協議会 会長 長谷川 武司 氏

事例発表 II 「河辺地域の生活支援体制整備事業の取り組み」

河辺地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 高橋 久美子 氏

(8) 地区社協ブロック研修会への支援

・4 ブロックで地区社協役員および事務局員の研修を行う際に、その開催経費の一部を負担し、地域福祉活動についての情報交換、研修活動を支援した。

(9) 地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業 (秋田市くらしの安心サポート推進事業)

※ ( ) 内は前年度実績

・地域住民やボランティア団体等が主体的に地域支え合い活動に取り組んでいくための体制づくりを支援するために車両や機材を貸出した。

貸出品目	貸出回数		貸出日数	
軽トラック	60回	(52)	154日	(133)
送迎車（リフト付き）※買い物支援を含む	87回	(85)	105日	(87)
送迎車（8人乗り）	9回	(21)	15日	(26)
発電機	1回	(4)	5日	(18)
除雪機	0回	(0)	—	—
融雪機器	0回	(0)	—	—
炊き出し機器	0回	(0)	—	—
電子血圧計	38地区社協へ貸出			

・買い物支援事業の実施状況

	実施回数		利用者 延べ人数		ボランティア 延べ人数	
河辺地区社協	24回	(24)	81	(108)	24	(24)
雄和地区社協	52回	(48)	225	(216)	52	(48)

(10) ふれあいレクリエーション事業 ※（ ）内は前年度実績

・生きがい、介護予防機器貸出

血圧計	1件	(0)	カラオケセット	123件	(112)
万歩計	0件	(0)	ワイヤレスアンプ	35件	(45)
握力計	0件	(0)	DVDプレイヤー	15件	(5)
ストップウォッチ	0件	(0)	ノートパソコン	11件	(16)
体組成計	4件	(11)	プロジェクター	49件	(46)
バランスボール	0件	(0)	スクリーン	44件	(37)
塩分検査器	1件	(0)	暗幕	6件	(7)
骨伝導電話機	0件	(0)	書画カメラ	0件	(0)
足指力計測器	0件	(0)	綿菓子機	62件	(53)
フロアカーリング	6件	(6)	ポップコーン機	38件	(40)
スロットボール	14件	(13)	かき氷機	15件	(13)
スマイルボウリング	15件	(6)	テント	7件	(5)
室内用ペタンク	6件	(2)	ビンゴ	27件	(27)
室内ボールゲーム	0件	(1)	ダーツ	1件	(1)
グラウンド・ゴルフ	8件	(12)	D V D	0件	(1)
ターゲット・バードゴルフ	1件	(3)	C D	0件	(0)
輪投げ	40件	(40)	図書	0件	(0)

(11) 子育て支援事業

・子育て支援おもちゃの無料貸出

31団体におもちゃを110回貸出し支援した。（前年度 25団体 35回）

・のびのび子育て出前講話

市内子育てサークル団体に対して、子育てに関する内容の講師を派遣し、子育て支援を図った。

35団体 延参加者 親254人 子390人 協力者210人 計854人(前年度35団体 計755人)

・子育て支援への助成

地区社協または地区民児協が行う子育て支援事業に対して助成を行った。

34地区 680,000円（前年度 34地区 680,000円）

(12) 地区社協の活動支援 ※ ( ) 内は前年度実績

- ・「秋田市地区社会福祉協議会連絡会」への活動支援と協力を行った。
- ・地区社会福祉協議会 事務担当者研修会の開催  
開催日 平成 31 年 2 月 27 日 (水)  
会 場 秋田市老人福祉センター  
参加者 34 地区 50 人  
内 容 研修 事業内容および事務手続きについて
- ・地区社協各種研修会への参加と支援  
地区社協の要望に応じ、研修会等での講話や事業の説明を行い支援した。
- ・地域福祉活動推進費助成金の交付  
38 地区 14,288,800 円 (38 地区 14,219,520 円)
- ・「地区社協の拠点づくり・事務機器整備支援事業」を実施し、地区社協へ助成した。  
事務機器整備 4 地区 120,000 円  
(拠点づくり 2 地区 200,000 円、事務機器整備 6 地区 180,000 円)
- ・「地区社会福祉協議会研修支援事業」を実施し、地区社協へ助成した。  
合同研修会の開催経費 1 地区 20,000 円、バス等の借上げ料 1 地区 20,000 円
- ・横断幕、垂れ幕、ポスター作成の支援

地 区 社 協	28 件	(25)
地 区 民 児 協	10 件	(6)
町 内 会	6 件	(17)
福 祉 団 体 ・ そ の 他	102 件	(104)
計	146 件	(152)

- ・印刷支援  
紙を持参することにより印刷費を無償にして、活動を支援した。印刷実績 151,944 枚(180,625)

(13) 市民児協との連携

- ・秋田市民生児童委員協議会と連携のもと、見守りネットワーク事業を実施し、地域福祉の充実を図った。
- ・平成 30 年 8 月 23 日に市社協・市民児協の正副会長の懇話会を開催し、「5 月の大雨被害への対応」について情報交換を行った。
- ・平成 30 年 10 月 4 日～5 日の市民児協役員研修 (神奈川県小田原市) に市社協職員が参加した。
- ・平成 30 年 11 月 27 日の市民児協理事会において除雪支援等について説明した。

(14) 法人後見制度の調査研究

- ・法人後見制度についての調査研究を継続した。

(15) 「秋田市地域福祉活動計画」策定

- ・秋田市地域福祉活動計画策定委員会を開催し、平成 31 年度から令和 5 年度までの「秋田市地域福祉アクションプラン 2019」(秋田市地域福祉活動計画)を策定した。  
策定委員 23 名 委員会開催 計 6 回

## 2 在宅福祉サービス事業

### (1) 福祉機器貸出事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・在宅で福祉機器を要する世帯に対して貸出した。

機器名	保有台数	当年度 貸出件数	年度末現在 貸出中件数
車 い す	27	144 (98)	16
介 護 用 ベ ッ ド	22	3 (5)	21
エ ア マ ッ ト	9	2 (2)	7
シャワーチェア	3	0 (1)	0
入 浴 台	2	0 (1)	0
浴 槽 手 す り	5	0 (0)	0
移 動 用 バ ー	2	1 (0)	2

・地域センターやコミセン等に車いすを設置し貸出を行った。

貸 出 件 数	217 件 (153)
---------	-------------

・地域センターやコミセン等に設置している貸出用車いすの点検および更新を行った。  
更新 3 台 (8)

### (2) 移送車の貸出事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・障がい者の通院、買い物等のため移送が必要な世帯等に対し、移送車を貸出した。

台 数	2 台 (2)	
登 録 者 数	67 人 (51)	
利 用 回 数	177 回 (158)	(ガソリン代は自己負担)

### (3) ふれあいさん派遣事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・急な病気、ケガ等の時に「ふれあいさん」を派遣し、短期間単発の生活支援をすることにより、介護予防や子育て支援につながった。

(ア) 利用状況

実 利 用 者 数	178 人 (168)	男 56 人 女 122 人 (男 56 人 女 112 人)
延 べ 利 用 回 数	1,193 回 (1,128)	月平均 99.4 回
利 用 延 べ 時 間	2,171 時間 (2,137)	月平均 180.9 時間
利 用 平 均 年 齢	70.7 歳 (66.7)	
稼 働 日 数	293 日 (294)	
登 録 ふ れ あ い さ ん 数	12 人 (15)	

(イ) 派遣理由

単位：件

内 容	病気	退院直後	ケガ	介護者不在	産前産後	その他
件 数	489 (418)	13 (7)	13 (7)	1 (0)	38 (36)	2 (0)

(ウ) サービス内容

単位：件

内 容	買物・調理	洗濯	掃除	世話	外出	見守り	薬取り	沐浴	その他
件 数	462 (487)	342 (457)	284 (292)	197 (177)	453 (343)	58 (87)	48 (44)	111 (154)	48 (61)

(エ) 他制度へ移行した人数 24 人

- ・派遣内容等について継続して検討した。
- ・事業案内のチラシや電子看板（デジタルサイネージ）放映等を活用して事業の PR に努めた。

(4) 安心探知機補助事業 ※ ( ) 内は前年度実績

- ・認知症等により徘徊に不安を抱える世帯に対し、安心探知機設置の補助を行った。

補助額 1セット 11,772円

補助件数	0件 (1)	補助額合計	— (11,772)
------	--------	-------	------------

- ・認知症等徘徊者の検索システムの調査研究

認知症等徘徊者の新たな検索システムの情報収集を行った。

- ・各携帯電話会社を取り扱う位置情報を確認できる各種装置・サービスの情報提供を行った。

### 3 ボランティア活動の育成と支援

(1) ボランティア活動への支援 ※ ( ) 内は前年度実績

- ・秋田市ボランティア基金の運用益をボランティア団体の行う事業等に対し助成金を交付した。

(ア) 基金の状況 平成31年3月末現在

基金	123,679,000円
----	--------------

(イ) 運用益の配分

事業助成	高齢者・障害者(児)・児童等へのボランティア活動	4件	343,310円
	ボランティアの養成や啓発のための研修会・交流会	2件	220,000円
活動振興事業	市社協・ボランティアセンター事業(ボランティア保険)	1件	449,400円
	〃 (災害支援等)	1件	255,135円
合計		8件	1,267,845円

・ボランティア団体への器具・機材の貸出 ※3ページ「地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業」および4ページ「ふれあいレクリエーション事業」の貸出実績に含む。

- ・ボランティア活動保険への加入状況

区分		団体数および人数		備考	
ボランティア		3,605人 (3,556)			
内訳	団体	192団体 (189)	3,544人 (3,485)	秋田市負担分	458,850円
	個人		61人 (71)		
地区社協・地域福祉関係者		2,861人 (3,113)		秋田市負担分	432,950円
災害		31人 (44)		ボランティア基金	432,950円
H30大雨被害		94人 (331)		社協会費充当	135,450円
除雪		385人 (411)		秋田市負担分	7,350円
内訳	団体	9団体 (10)	337人 (379)	秋田市負担分	16,450円
	個人		12人 (15)	ボランティア基金	16,450円
	町内会	7町内 (4)	36人 (17)	社協会費充当	12,600円
合計		6,976人 (7,455)		秋田市負担分	1,037,750円
				ボランティア基金	449,400円
				社協会費充当	148,050円

(2) ボランティアセンター事業 ※ ( ) 内は前年度実績

- ・ボランティア広報誌の発行

「ぼらんていあ情報」を6回(隔月)発行。

- ・ボランティアニーズの把握を行い、個人ボランティア、団体ボランティアの募集と登録および活動の紹介を行った。

① ボランティア登録数

個人	1,207人	(1,221)
男	298人	(300)
女	909人	(921)
団体数	254団体	(253)
団体人数	5,245人	(5,220)
男	1,409人	(1,376)
女	3,836人	(3,844)
登録者合計	6,452人	(6,441)
男合計	1,707人	(1,676)
女合計	4,745人	(4,765)

② ボランティア活動紹介件数

施設	62件	(99)
団体	23件	(20)
在宅	15件	(30)
自宅	0件	(0)
その他	3件	(2)
合計	103件	(151)

- ・「チビッコボランティア」、「ジュニアボランティア」の開催

小中学校の児童生徒を対象に福祉施設等で体験ボランティアを開催した。

事業名	開催回数	参加人数
チビッコボランティア	7回 (7)	118人 (105)
ジュニアボランティア	7回 (7)	39人 (56)

- ・福祉施設、関係機関との連携

介護支援ボランティア制度と連動し、福祉施設との連携を図った。また、高齢者疑似体験等の貸出や講師派遣を行い関係機関との連携を深めた。

(3) 介護支援ボランティア制度の運営 ※ ( ) 内は前年度実績

(ア) 制度の広報、啓発

- ・秋田駅東西連絡自由通路(ぼぼろード)へポスターを掲示し市民への啓発を行った。
- ・登録講習会の開催を周知するため、リーフレットを作成し関係機関等へ配布した。

(イ) 登録講習会 12回開催(10) 参加者82人(144) 男22人(37) 女60人(107)

出張登録講習会 2回開催(1) 参加者33人(6) 男1人(0) 女32人(6)

(ウ) 登録状況

	男	女	計
前年度までの登録者数	126人 (114)	387人 (363)	513人 (477)
新規登録者数	13人 (28)	51人 (81)	64人 (109)
登録抹消者数	5人 (16)	17人 (57)	22人 (73)
計	134人 (126)	421人 (387)	555人 (513)

(エ) 実活動者数

281人(292) 男63人(69) 女218人(223) ※平成31年3月の実活動者数

(オ) 延べ活動時間 20,658時間(21,334)

(カ) 指定受入機関数

介護保険施設等	121 施設	(115)
放課後児童クラブ・児童館・児童センター	54 施設	(15)
秋田市立図書館	5 施設	(5)
計	180 施設	(135)

(キ) ポイント活用申請の状況

ポイント申請者数	368 人	(347)	
申請ポイント数	14,200 P	(13,610)	
換金ポイント数	13,940 P	(13,300)	※1P=100 円
寄付ポイント数	260 P	(310)	※市社協への寄付 8 人 (10)

(ク) 介護支援ボランティア登録者を対象として研修会を開催した。

開催日 平成 30 年 11 月 29 日 (木) 秋田県生涯学習センター 講堂 参加者 140 人

内 容 講演 1 『認知症の対応について』

講師 八橋地域包括支援センター社協 職員

講演 2 『ロコモ予防でいつまでも元気に』

講師 秋田市保健所 保健予防課 保健師 坂本名都美 氏

(4) 除雪支援の実施 ※ ( ) 内は前年度実績

・除雪ボランティアとの連携による除雪活動

除雪支援相談件数 4 件 (27)

活動件数 4 件 (18) ①ボランティア対応 4 件 (15) ②その他の対応 0 件 (3)

・除雪ボランティア登録状況

	団体数	登録人数	前年度	
団 体	10 団体	475 人	15 団体	522 人
個 人	—	12 人	—	18 人
計	10 団体	487 人	15 団体	540 人

・除雪機器等の貸出

貸出品目	貸出回数	貸出日数
小型除雪機	0 回	—

・除雪ボランティア等へのボランティア保険料の補助

※7 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(5) 大雨被害への対応

- 平成 30 年 5 月の大雨により、秋田市内でも下新城、金足、広面、大住地区を中心に床上、床下浸水あわせて 370 棟以上の被害が発生し、秋田市災害ボランティアセンターを設置するなど、被害状況の把握・ニーズ調査・ボランティアの受け入れ等を行った。

対応期間 平成 30 年 5 月 19 日～6 月 22 日

災害ボランティアセンター

- ・設置期間 平成 30 年 5 月 21 日～6 月 9 日
- ・設置場所 秋田市老人福祉センター
- ボランティア活動件数 174 件
- 主な活動内容 畳・家具の運び出し、屋内の片づけ、床下消毒、泥・土砂・流木等の片づけ、小屋・物置の片づけ等
- ボランティア活動者（延） 644 人

※参加団体

秋田県曹洞宗青年会ボランティア委員会、真如苑 SeRv、秋田市建設業協会、秋田ノーザンブレッツ、なまはげこまち、秋田赤十字血液センター、赤十字防災ボランティアステーション、国際石油開発帝石（株）、金寿園、藤岡災害ボランティアサークル、チーム藤田、西東京臨済会災害支援部、チーム絆、災害ボランティア「集結」、チームふじさん、ボランティアチーム援人、災害ボランティア風組関東、オープンジャパン

- ・各地区社協、各地区民児協に地区内の見守り活動の強化およびニーズ把握について協力を依頼した。
- ・ボランティアの協力を得て被災世帯へ戸別訪問（ニーズ調査）を実施した。（約 360 世帯）

【寄付】

名 称	数量・金額	寄付者
土のう袋	2 箱	被災地へ土のう袋を送るプロジェクト
スポンジ、ブラシ	10 個	村田真理子
飲料（500ml×24 本）	4 箱	大仙市社会福祉協議会
お茶（500ml×24 本）	1 箱	山田昇
飴など	5 袋	岩沼市社会福祉協議会
タブレット（塩分チャージ）	4 箱	横手市社会福祉協議会
防護服セット	13 組	土居章敏
寄付金	10,338 円	秋田県大衆音楽協会
寄付金	10,000 円	(株)スターダストプロモーション

【資機材の提供】（無償貸与）

名 称	数量	提供者
角スコップ	30 本	秋田県社会福祉協議会
スコップ・土のうスタンド他	多数	にいがた災害ボランティアネットワーク
ホワイトボード	1 台	コクヨ
送風機	1 台	原淳一

【その他】

- 秋田県共同募金会より「活動拠点事務所支援資金」として 1,279,738 円の支援
  - 秋田県社会福祉協議会から災害ボランティアセンター運営スタッフとして職員派遣
  - 県内市町村社協から応援職員の派遣
- 鹿角市、小坂町、大館市、北秋田市、能代市、三種町、八峰町、男鹿市、潟上市、八郎潟町、由利本荘市、にかほ市、大仙市、仙北市、美郷町、横手市、湯沢市

#### 4 生活福祉支援関連事業

##### (1) 生活福祉資金等貸付事業 ※ ( ) 内は前年度実績

###### ・相談受付状況

資金の種類	件数	数
総合支援資金	110件	(196)
福祉資金	2,212件	(1,374)
教育支援資金	485件	(454)
不動産担保型生活資金	70件	(59)
計	2,877件	(2,083)

###### ・生活福祉資金の貸付状況

資金の種類		件数	金額
総合支援資金	生活支援費	1件 (3)	240,000円 (555,000)
	住宅入居費	0件 (1)	— (167,890)
	一時生活再建費	1件 (0)	10,570円 (—)
福祉資金	福祉費	6件 (3)	4,080,924円 (1,850,000)
	緊急小口資金	12件 (19)	918,000円 (1,846,000)
教育支援資金	教育支援費	10件 (11)	15,869,000円 (17,478,000)
	就学支度費	9件 (13)	2,781,500円 (3,554,000)
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0件 (0)	— (—)
	要保護世帯向不動産担保型生活資金	0件 (0)	— (—)
計		39件 (50)	23,899,994円 (25,450,890)

###### ・臨時特例つなぎ資金の貸付状況 ※ ( ) 内は前年度実績

資金の種類	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	0件 (1)	— (100,000)

###### ・事務局審査の開催 44回 (資金の借入れ、償還猶予、償還免除の各種申込みに伴う審査)

###### ・生活困窮者自立支援事業との連携

市福祉事務所が開催する支援調整会議への参加 13回

###### ・生活福祉資金研修会の開催

開催日 平成30年9月28日(金)

会場 秋田市老人福祉センター

参加者 生活福祉資金担当民生委員等 34地区 49人

内容 研修「生活福祉資金貸付制度と民生委員の現状について」

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生活相談支援担当 鎌田 いづみ 氏

###### ・償還指導等の実施

6月 99件、10月 208件、11月 66件、12月 158件、1月 85件、2月 69件

計 685件 (計 526件)

##### (2) 市民小口資金の貸付および償還指導の実施 ※ ( ) 内は前年度実績

・市から400万円の原資を借り入れ、一時的に生活に困っている方に対して限度額6万円まで貸付した。(貸付期間12カ月以内・無利子)

・市民小口資金の新規貸付状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
一 般 ( 社 協 受 付 )	55 (71)	2,725,000 (3,880,000)
被 保 護 者 等	216 (226)	3,253,500 (4,069,920)
保 護 課 経 由	206 (205)	2,915,500 (3,454,920)
自 立 支 援 経 由	10 (21)	338,000 (615,000)
合 計	271 (297)	5,978,500 (7,949,920)

・市民小口資金の償還状況

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数(件)	金 額 ( 円 )	件数(件)	金 額 ( 円 )	件数(件)	金 額 ( 円 )
一般(社協)	41 (45)	1,245,000 (1,363,000)	120 (107)	2,959,076 (2,332,746)	161 (152)	4,204,076 (3,695,746)
被保護者等	169 (158)	2,330,000 (2,121,920)	63 (64)	883,000 (933,200)	232 (222)	3,213,000 (3,055,120)
保護	165 (152)	2,190,000 (2,036,920)	51 (58)	711,000 (831,000)	216 (210)	2,901,000 (2,867,920)
自立	4 (6)	140,000 (85,000)	12 (6)	172,000 (102,200)	16 (12)	312,000 (187,200)
計	210 (203)	3,575,000 (3,484,920)	183 (171)	3,842,076 (3,265,946)	393 (374)	7,417,076 (6,750,866)

・市民小口資金の完済、未完済の状況

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数(件)	金 額 ( 円 )	件数(件)	金 額 ( 円 )	件数(件)	金 額 ( 円 )
完 済	171 (146)	2,739,500 (2,449,920)	118 (113)	3,091,000 (2,632,870)	289 (259)	5,830,500 (5,082,790)
未 完 済	100 (151)	2,403,500 (4,465,000)	447 (414)	10,006,488 (9,714,564)	547 (565)	12,409,988 (14,179,564)

・償還遅延者に対し督促状を送付した。(7月、3月)計 984件

・市から補助を受け、過年度分(平成19年度分13件)の不能欠損処理を行った。

(3) 見舞金の支給

・罹災世帯に対して見舞金を支給した。

罹 災 区 分	罹災世帯数	見 舞 金 額
全 焼 件 数	6 件	120,000 円
半 焼 件 数	1 件	10,000 円
半壊・一部損壊件数	2 件	20,000 円
床 上 浸 水 件 数	146 件	1,460,000 円
計	155 件	1,610,000 円
前 年 度	171 件	1,790,000 円

(4) 秋田市地域自殺対策強化事業 ※ ( ) 内は前年度実績

(ア) 地域サロン強化事業

地域サロン活動のさらなる充実や拡大を図ることにより社会的孤立を予防し、自殺予防対策の一助とした。

助成金交付 29地区(31地区) 1,305,000円(1,395,000円)

サロン貸出用品購入

(イ) 緊急食支援事業

市民小口資金等へ該当しなかった方や制度申請中の方で、その日の食事のままならない方々に対して食料品の支給と意思立った時に相談できるよう専門相談機関の一覧を配布した。

支援対象数 51件61名(90件107名)

## (5) フードバンクへの協力

### (ア) フードバンクあきたへの協力

家庭で余剰な食べ物を秋田市老人福祉センター内の食品回収箱に持ち寄ってもらい、それらをフードバンクあきたへ受け渡しした。

受け渡し状況 米、乾麺、飲料、缶詰、お菓子など 計 678 点(1,581 点)

### (イ) コープフードバンク事業への協力

生活困窮などにより食品等を必要としている世帯を把握したときに、コープフードバンク(コープ東北サンネット事業連合)から必要なものを無償提供してもらい事業に協力した。

困窮世帯への支援 27 件 (18 件)

## (6) 日用品・介護用品の再利用

・介護用品が不要となった人の情報をリサイクル情報としてホームページへ掲載し、必要な人への再利用につながった。

車いす 1 件

## 5 福祉啓発活動

### (1) 社会福祉法人等との連携

・秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会と合同交流会を開催し、福祉意識の高揚と連携を図った。

(平成 30 年 9 月 27 日(木)、平成 30 年 10 月 10 日(水)開催 参加者延べ人数 819 人)

・スポーツ大会ふれあいニュースを発行(平成 31 年 3 月 500 部)し、市内福祉施設へ配布した。

・平成 30 年 6 月 22 日、平成 30 年 11 月 16 日に秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会実行委員会を開催した。

・地域における公益的な取り組みメニューを提示した「秋田市地域福祉おむすびネット」により、社会福祉法人と連携し、地域の課題解決と地域福祉力の強化に努めた。(登録 8 法人 メニュー選択 34 施設)

### (2) 社会福祉大会の開催

開催日 平成 30 年 10 月 24 日(水)

会場 秋田市文化会館 大ホール

参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、婦人会会員、福祉団体関係者、秋田市民 約 650 名

テーマ 「広げよう 命を守る 地域の絆」

行事 式典、福祉功労者の表彰

アトラクション

「広げよう 楽しく集う 絆の輪」

港伝承絆会

講演

「0 から 1 へ、逆境を乗り越え、いざ世界の舞台へ」

～平昌冬季パラリンピックを戦い終えて～

岩手県立盛岡視覚支援学校実習教諭

2018 平昌冬季パラリンピック

クロスカントリースキー・バイアスロン日本代表

高村和人氏

(3) 広報活動 ※ ( ) 内は前年度実績

・「社協だより」を発行し、全戸へ配布した。

発行回数	1回 (1)	発行部数	115,000部 (115,000)
------	--------	------	--------------------

・ミニ広報誌を発行し、地区社協、地区民児協、市民センター、地域センター、コミセンへ配布した。

発行回数	1回 (1)	発行部数	1,758部 (1,740)
------	--------	------	----------------

・秋田市社協のホームページの更新頻度を上げ、内容の充実を図るとともに事業等の「見える化」に努めた。

アクセス件数 108,962 件 (103,988) (ホームページアドレス <https://www.akita-city-shakyo.jp/>)

(4) 福祉教育の推進 ※ ( ) 内は前年度実績

・職場体験学習の受入れ 中学校 6校 (4) 22名 (25)

・バリアフリー教室への協力 小学校 10校 (9) 754名 (547)

・機材の貸出状況

	貸出件数	延べ数
車いす	29件 (29)	48台 (38)
高齢者疑似体験セット	18件 (25)	0台 (0)
視覚障がい者体験グラス	13件 (14)	55台 (48)
アイマスク	13件 (11)	372枚 (188)

## 6 組織運営と財政基盤の強化

(1) 理事会、評議員会等の開催 ※ ( ) 内は前年度実績

理事会	2回 (3)
評議員会	2回 (2)
監事会	1回 (1)
正副会長会	3回 (4)

(2) 委員会等の開催

・「ボランティア基金管理運営委員会」の開催 (平成30年7月5日)

・「表彰者審査委員会」の開催 (平成30年8月23日)

(3) 組織運営体制の強化

・諸規程の改正を行い、運営体制の整備を図った。

(4) 会員加入の促進

ア 一般会員の状況 (H31.3.31現在) 38地区 89,305世帯 × 360円 = 32,149,800円  
 (※前年度実績 38地区 88,872世帯 × 360円 = 31,993,920円)

イ 特別会員の状況（H31. 3. 31 現在）

区 分		会員数	口数	会 費	前 年 度		
					会員数	口数	会 費
個 人	地 区 社 協 役 員	298 名	298 口	298,000	298 名	298 口	298,000
	民 生 委 員・児 童 委 員	714 名	714 口	714,000	714 名	714 口	714,000
	福 祉 施 設 職 員	36 名	44 口	44,000	35 名	43 口	43,000
	一 般 市 民	58 名	85 口	85,000	64 名	90 口	90,000
	市・社協職員	262 名	263 口	263,000	276 名	278 口	278,000
小 計		1,368 名	1,404 口	1,404,000	1,387 名	1,423 口	1,423,000
団 体	地 区 社 協	38 団体	38 口	190,000	38 団体	39 口	195,000
	社 会 福 祉 事 業 施 設	51 団体	68 口	136,000	51 団体	68 口	136,000
	社 会 福 祉 団 体	28 団体	35 口	70,000	27 団体	33 口	66,000
	企 業・法 人	29 団体	32 口	320,000	31 団体	34 口	340,000
小 計		146 団体	173 口	716,000	147 団体	174 口	737,000
合 計		1,514	1,577 口	2,120,000	1,534	1,597 口	2,160,000

## 7 運用財産の運営

### (1) 善意銀行の運営 ※（ ）内は前年度実績

・市民の善意で預託された一般寄付金や指定寄付金等は、地域貸出用車いすの購入や在宅福祉事業に充てるとともに一部を福祉事業基金の原資として積み立てをした。

一 般 寄 付 金	篤 志 寄 付	32 件 (47)	927,255 円 (1,511,118)	
	香 典 返 し	1 件 (6)	100,000 円 (340,000)	
	計	33 件 (53)	1,027,255 円 (1,851,118)	
指 定 寄 付 金	一 円 玉 寄 付 金	1 件 (1)	24,000 円 (56,000)	交通災害遺児激励金に充当
	そ の 他 指 定 寄 付 金	8 件 (6)	713,273 円 (5,324,000)	
	計	9 件 (7)	737,273 円 (5,380,000)	
合 計		42 件 (60)	1,764,528 円 (7,231,118)	

### (2) 基金及び積立金の運営

・決済性預金の一部（福祉事業基金積立資産および居宅介護等事業積立資産）について、国債（30年利付）を購入して運用することとした。

・ボランティア基金を運用している国債（2020年満期）を売却し、新たな国債（30年利付）を購入した。（売却益 2,659,685 円）

・床上浸水見舞金として、福祉事業基金から 1,460,000 円を支出した。

・7月豪雨災害義援金として、福祉事業基金から 100,000 円を支出した。

・大阪府北部地震義援金として、福祉事業基金から 20,000 円を支出した。

・米原市竜巻災害義援金として、福祉事業基金から 10,000 円を支出した。

・北海道胆振東部地震災害義援金として、福祉事業基金から 50,000 円を支出した。

(3) その他（寄付物品等）

- ・テレビ 43 型 1 台 (東北電力労働組合秋田県本部)
- ・車イス用体重計 1 台 (東北六県北海道計量協会連合会)
- ・手作りお手玉 280 個 (秋田市母子寡婦福祉連合会 夢クラブ)
- ・タオル 58 枚 (柳町町内会女性部)
- ・カレンダー 約 2,500 点 (株くまがい印刷)
- ・タオル 100 枚 (寺内小学区社会福祉協議会)
- ・車イス 2 台 (秋田市総合振興公社)

8 役職員の資質の向上と派遣

(1) 役職員研修

- ・監事が社会福祉法人監事研修へ参加した。
- ・役職員が秋田県社会福祉大会の講演会（秋田市）へ参加し、研修した。
- ・新任職員研修を実施した。
- ・研修計画等に基づき各種研修会へ参加し研修した。

(2) 役職員派遣

- ・地区、団体等の要望により役職員を講師派遣および行事へ派遣した。

9 受託事業

(1) 秋田市手話通訳者設置事業 ※（ ）内は前年度実績

手話通訳者	1人	(1人)
通訳件数	636件	(658件)

(2) 秋田市ボランティアセンター事業 ※8 ページ「ボランティアセンター事業」参照

(3) 介護支援ボランティア制度運営事業 ※9 ページ「介護支援ボランティア制度の運営」参照

(4) 秋田市老人福祉センター管理運営事業 ※（ ）内は前年度実績  
ア 利用件数

個人利用者	23,999人	男 12,463人 女 11,536人
団体利用者	12,529人	1,285団体
合計	36,528人	(9,869人)
開館日数	293日	
1日平均利用者	128人	(136人)

イ 部屋別個人利用延べ人数

図書コーナー	ヘルストロン	娯楽室	浴室	録音室
2,416(1,267)	12,438(13,256)	1,140(866)	19,297(19,984)	137(84)

ウ 高齢者生きがい事業

・高齢者の生きがいと健康づくりのため「けやき大学」を開催した。

講座名	科目	回数	参加者延べ人数
趣味・教養	楽しい七宝焼き教室	4(4)	89人(90)
	筆ペン・ペン習字教室	5(5)	133人(156)
	スマートフォン教室	4(4)	74人(72)
	水彩画教室	8(8)	226人(194)
健康づくり	太極拳教室	8(8)	153人(182)
合計		29(29)	675人(694)

(5) 秋田市老人いこいの家管理運営事業

ア 利用件数

施設名	八橋	飯島	大森山
利用人数 男	3,543人	10,293人	8,040人
〃 女	2,073人	4,889人	8,598人
〃 子供	—	—	1,120人
計	5,616人	15,182人	17,758人
前年度	5,752人	15,977人	19,612人
開所日数	298日	298日	298日
一日平均	18.8人	51.1人	59.6人
前年度一日平均	19.4人	54.0人	66.3人

イ 利用内容

単位:人

区分	八橋		飯島		大森山		
	当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度	
老人	各種会議等	186	373	0	0	0	10
	各種講習会等	870	831	0	0	0	0
	レクリエーション	720	519	0	0	167	30
	交流会等	68	37	0	0	585	968
	同好会等	2,855	3,104	2,093	2,180	3,456	3,173
	入浴	—	—	11,101	11,925	6,030	8,718
	ヘルストロン	—	—	—	—	2,796	1,859
	体育館	—	—	—	—	4,315	4,338
	いきいきサロン	609	576	224	241	240	261
	その他	308	312	1,764	1,631	169	255
子供	各種会議等				0	0	
	レクリエーション				0	0	
	交流会等				0	0	
	入浴				0	3	
	体育館				355	497	
	その他				0	2	
計	5,616	5,752	15,182	15,977	17,758	19,612	

※ 浴室利用については火曜、木曜、土曜の週3日のみ

※ 八橋老人いこいの家ボイラー故障のため平成23年6月23日から浴室の利用を休止。

ウ 健康相談等

健康相談	36	41	3,320	3,162	1,659	2,615
血圧測定	841	805	3,422	3,231	1,867	2,850
処 置	0	0	1	6	5	4

エ いきいきサロン

	八 橋		飯 島		大森山		雄和ふれあいプラザ	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
体を動かそうADL体操	12	609	3	37	3	64	3	36
秋田民謡手踊り教室			3	44				
からだイキイキ3B体操					3	59		
山の幸染め教室							2	20
演歌・歌謡教室			4	121	3	72		
ラフターヨガ			2	22	3	45		
フラワーアレンジメント							1	8
プリザーブドフラワー							1	14
クラフトテープ～小物入れ～							3	36
ポーセラーツ教室							2	12
合 計	12	609	12	224	12	240	12	126
前 年 度	12	576	12	241	12	261	12	179

(6) 秋田市雄和ふれあいプラザ管理運営事業 ※ ( ) 内は前年度実績

ア 利用状況

男	726人 (540)
女	2,124人 (1,729)
計	2,850人 (2,269)
一日平均利用者数	11.7人 (9.3)
開所日数	244日 (244)

イ 利用内訳

各種会議	194人 (230)
交流会等	100人 (202)
同好会等	827人 (698)
いきいきサロン	126人 (179)
ゆうゆうくらぶ	276人 (183)
ヘルスロトン	958人 (428)
その他	369人 (339)

(7) 秋田市河辺総合福祉交流センター管理事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・利用状況

内容	会議室等					屋外
	福祉関係	保健関係	社会・教育	その他	合計	グラウンド ゴルフ
件数	179 (168)	14 (18)	56 (59)	26 (31)	275 (276)	77 (109)
人数	3,097 (3,186)	935 (965)	2,819 (2,868)	751 (6,078)	7,602 (13,097)	934 (1,137)

(8) 秋田市地域包括支援センター運営事業

八橋・河辺・川元地域包括支援センター (地域型)

単位：件

	総合 相談	権利 擁護	ケア 会議	申請 代行	地域 連携等	予防 プラン	内プラン の委託
八橋地域包括支援センター社協	1,412	104	6	254	62	3,465	2,289
河辺地域包括支援センター社協	410	14	7	133	49	1092	285
川元地域包括支援センター社協	1,387	343	6	154	59	2,696	1,805

ア 実習生等受入状況

- ・八橋地域包括支援センター社協：延べ10人  
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会看護学校、日本赤十字秋田看護大学)
- ・河辺地域包括支援センター社協：延べ6人  
(秋田大学医学部保健学科、日本赤十字秋田看護大学)
- ・川元地域包括支援センター社協：延べ9人  
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会看護学校、日本赤十字秋田看護大学)

イ 認知症サポーター養成講座への講師派遣

- ・八橋地域包括支援センター社協：14事業所 322人参加
- ・川元地域包括支援センター社協：5事業所 171人参加

ウ 認知症予防事業「アタマとカラダの健康教室」(八橋地域包括支援センター社協)

認知症地域支援推進員を配置して、認知症予防のため活動を通じて、地域住民との交流促進および生きがいづくりの機会を設け、認知症予防に自ら取り組む地域づくりを支援した。

実施期間 平成30年6月12日～平成30年11月20日 毎月第1・3火曜日

実施内容 コグニサイズ (有酸素運動と認知課題を組み合わせたエクササイズ)・脳トレ

実施回数 12回、利用実人数 18人、利用延人数 167人

(9) 地域型はつらつくらぶ事業 ※ ( ) 内は前年度実績

・高齢者の運動器の機能向上、閉じこもりの防止、介護予防一般に関する知識の普及啓発を図り、要介護状態になることの予防と生き生きとした生活を支援した。

	八橋包括	河辺包括	川元包括	計
実施回数 (回)	9 (7)	12 (10)	8 (8)	29 (25)
利用者実人数 (人)	22 (24)	25 (30)	25 (19)	72 (73)
利用者延人数 (人)	167 (135)	209 (187)	148 (89)	524 (411)

【実施内容】

八橋	ストレッチ、ステップ体操、体力測定、講話 (筋肉と脂肪燃焼の関係性など)
川元	体力測定、健康体操、講話 (転倒予防のための福祉用具、口腔機能向上について)
河辺	体力測定、健康体操、介護予防、認知症予防、レクリエーション

**(10) 秋田市高齢者生活支援体制整備事業**

八橋・河辺・川元の圏域において、生活支援コーディネーター1名を設置して、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行った。

**〔八橋〕**

- ・生活支援コーディネーターが、地域包括支援センターや地区社協の協力員と情報共有を図り、地域の各種団体の行事に出向き、聞き取りやアンケート調査などにより地域課題の把握および地域資源の把握を行った。
- ・八橋旭北高齢者ささえ愛協議会（協議体）を八橋地区2回、旭北地区2回計4回開催し、ワークショップや意見交換により地域課題の見える化や解決に取り組める課題の集約を行った。
- ・町内会単位のワークショップ（八橋1回座談会、旭北1回資源マップづくり）で住民の集いの場の情報や困りごとなどの課題の把握を行った。
- ・地域サロンへの訪問により、地域の問題点や住民の要望を把握した。
- ・圏域内の住民と関係機関に広報紙「ささえあい通信」を2回発行し、事業の周知を図った。

**〔河辺〕**

- ・ささえ愛せせらぎ協議会（協議体）を4回開催した。
- ・居場所づくりのためのきっかけづくり教室等の開催 ※（ ）内は前年度実績

教室等名称	開催回数	参加延べ人数
ウォーキング教室	5回	56人（61人）
ダンディ・クッキング	5回	30人（25人）
スロージョギング教室	47回	624人（117人）
昭和歌謡カラオケと会話を楽しむ会	10回	45人

- ・2町内サロンで地域支えあいマップを作成し、各町内の状況を確認した。
- ・広報誌「生活支援コーディネーター通信」を3回発行し、河辺圏域に配布。（1回2,700部）
- ・協議体主催でサロン情報交換会実施 49人参加  
内容 ダンディ・クッキング参加者による試食、生活支援体制整備事業説明  
サロン情報交換会（事例発表2例、グループワーク）

**〔川元〕**

- ・生活支援コーディネーターが、アウトリーチ、ネットワークの構築、地域資源の把握や創出、地域づくりの意識の統一を目的として活動した。
- ・川元包括圏域きずな会（協議体）会議を、旭南、川尻、茨島の地区ごとに開催し、2か所の集いの場が創出された。
- ・川元包括圏域きずな会（協議体）全体会議を開催し、地区ごとの活動を報告し、統合をはかった。
- ・15か所の各種地域団体の会合やイベント等に参加し、情報交換。地域課題の把握に努め、連携をはかった。
- ・住民座談会や、アンケート調査、各地区の協力員との情報共有、個別地域ケア会議でも地域資源の把握を行った。
- ・広報紙「川元包括圏域きずな通信」を2回発行し、町内会長を通じて全戸回覧した。
- ・圏域居宅介護支援事業所の介護支援専門員にむけて、地域資源や集いの場について情報提供した。

**(11) 通所型介護予防フォローアップ事業**

二次予防事業の参加者が、事業終了後も主体的かつ継続的に介護予防に取り組むことにより、居宅において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるように支援した。

- ・河辺地域包括支援センター社協

実施内容 運動機能向上（簡易器具を使用したトレーニング・ストレッチ）

支援回数 24回、延べ参加者数 94人

・川元地域包括支援センター社協

実施内容 運動機能向上（簡易器具を使用したトレーニング）

支援回数 24回、延べ参加者数 77人

(12) 福祉サービス利用援助事業 ※（ ）内は前年度実績

ア 相談援助・契約件数

	相談援助件数	契約件数	新規契約件数	解約件数
認知症高齢者等	320 (384)	22 (24)	8 (8)	10 (28)
知的障がい者	103 (130)	5 (4)	1 (0)	0 (4)
精神障がい者	814 (1,820)	14 (12)	3 (3)	1 (4)
その他	8 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	1,245 (2,344)	41 (40)	12 (11)	11 (36)

イ その他

- ・契約締結審査会への出席 12回 (12)
- ・生活支援員研修会への参加 参加者6名 (7)
- ・生活支援員 11名 活動回数460回 (558)

(13) 秋田市障害児者日中一時支援事業 ※（ ）内は前年度実績

会場 きらり支援学校

3月末利用者数	延べ利用者数	月平均	延べ利用回数	月平均	従事者数
5人 (3)	52人 (44)	4.3人 (3.7)	448回 (476)	37.3回 (39.7)	常勤1人、登録6名

## 10 介護保険等事業

(1) ホームヘルパー事業

ア 利用状況

	障害者 総合支援	総合 事業	介護保険							計	前年度
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
延べ人数	561	28	760	579	898	537	151	68	44	3,626	3,696
延べ利用回数	9,146	190	4,051	4,016	8,711	6,783	3,542	1,480	1,020	38,939	40,912

イ 人員体制 (3月末現在)

常勤	契約	非常勤	登録	計	前年度
9	13	5	40	67	71

ウ ガイドヘルパー数

登録数
3

## (2) 居宅介護支援事業

### ア 利用状況

		総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
秋田	延べ人数	575	142	186	1,130	685	483	377	148	3,726	3,921
	月平均	47.9	11.8	15.5	94.1	57.0	40.2	31.4	12.3	310.2	326.8
河辺	延べ人数	0	0	0	424	349	283	173	109	1,338	1,321
	月平均	—	—	—	35.3	29.0	23.5	14.4	9.0	111.5	110.0
せせらぎ	延べ人数	0	0	0	469	238	132	117	77	1,033	1,032
	月平均	—	—	—	39.0	19.8	11.0	9.75	6.41	86.0	86.0

イ 人員体制（3月末現在） ケアマネジャー数 秋田9人、河辺5人、せせらぎ3人

### ウ 実習生受入状況

居宅介護支援せせらぎ事業所：介護支援専門員実務研修1人

## (3) 通所介護事業

### ア 利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
河 辺	実 人 員	25	50	289	119	83	35	18	619	543
	延べ利用回数	95	344	2323	1065	793	254	252	5,126	4,553
八 橋	実 人 員	141	119	317	287	96	28	13	1,001	999
	延べ利用回数	859	1017	2,316	2,690	988	219	53	8,142	7,141

イ 人員体制（3月末現在）

【河辺】管理者1名（介護職員を兼務）、生活相談員4名（常勤専従1、常勤兼務3）、看護職員2名（常勤兼務1、非常勤兼務1）、介護職員8名（常勤専従1、常勤兼務5、非常勤専従2）

【八橋】管理者1名（介護職員を兼務）、生活相談員3名（常勤専従1、常勤兼務2）、看護職員3名（常勤兼務1、非常勤兼務2）、介護職員10名（常勤専従3、常勤兼務3、非常勤専従4）

### ウ 実習生等受入状況

八橋デイサービスセンター：延べ40人（秋田市医師会立看護学校）

## 1.1 その他

- (1) 秋田市共同募金委員会事務局への協力
- (2) 秋田市ボランティア連絡協議会事務局への協力
- (3) 秋田市老人福祉施設連絡協議会事務局への協力
- (4) 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会事務局等への協力
- (5) 第52回全国ろうあ青年研究討論会（秋田県聴力障害者協会）へ助成

## 社 協 活 動 主 要 記 録

平成 年月日	主 要 事 項	開催場所等
30. 5. 11	正副会長会(平成29年度事業報告および収支決算等)	秋田市老人福祉センター
16	監事会(平成29年度監査)	〃
19	大雨被害への対応(～6/22)	〃
21	秋田市災害ボランティアセンターを設置(～6/9)	〃
24	理事会(平成29年度事業報告および決算認定等)	〃
6. 8	評議員会(平成29年度事業報告および決算認定等)	〃
14	第1回秋田市社会福祉大会打合わせ会	〃
19	秋田市地区社会福祉協議会連絡会総会および第1回研修会(～6/20)	〃・秋田県鹿角市
26	第1回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	秋田市老人福祉センター
7. 5	秋田市ボランティア基金管理運営委員会	〃
6	地域福祉活動合同研修会	秋田市文化会館
10	秋田市地域福祉おむすびネットを社会福祉法人へ説明	秋田市役所 正庁
19	第2回秋田市社会福祉大会打合わせ会	秋田市老人福祉センター
23	社会福祉法人指導監査	〃
24	秋田市補助事業に係る状況調査	〃
30	市体協チャリティーグラウンドゴルフ贈呈式(寄付金)	〃
8. 20	青森県黒石市民生児童委員協議会視察研修	〃
23	秋田市社会福祉協議会表彰者審査委員会	〃
23	市社協・市民児協正副会長懇話会	〃
28	第2回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	〃
9. 27	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(ソフトボール)	向浜四面球場
10. 4	東北六県北海道計量協会連合会贈呈式(車いす用体重計)	ビューホテル
10	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(バレーボール)	CNAアリーナあきた
10	秋田市内社会福祉従事者合同交流会	イヤタカ
16	第3回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	サンライフ
24	秋田市社会福祉大会	秋田市文化会館
27	桜雅会歌と踊りのフェスティバル贈呈式(寄付金)	秋田テルサ
11. 4	あずさ愛福祉歌謡祭贈呈式(寄付金)	秋田市文化会館
19	第4回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	秋田市老人福祉センター
12. 11	東部ガス寄付贈呈式(寄付金)	秋田県社会福祉会館
12	真如苑寄付贈呈式(寄付金)	秋田市老人福祉センター
15	秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」贈呈式	〃
21	くまがい印刷贈呈式(カレンダー)	〃
25	第5回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	〃
31. 1. 4	正副会長会議(理事・監事の改選等)	〃
18	秋田市地域福祉活動計画説明会及び秋田市地区社協連絡会第2回研修会	協働大町ビル
2. 6	Bブロック地区社協研修会	第一会館本館
7	救急医療情報キット(安心キット)事業推進会議	秋田市老人福祉センター
13	Aブロック地区社協研修会	協働大町ビル
2. 19	第6回秋田市地域福祉活動計画策定委員会	秋田市老人福祉センター
21	Dブロック地区社協研修会	アキタパークホテル
27	地区社会福祉協議会事務担当者研修会	秋田市老人福祉センター
28	Cブロック地区社協研修会	第一会館本館
3. 5	秋田市総合振興公社贈呈式(車椅子)	秋田市老人福祉センター
14	正副会長会(補正予算、平成31年度事業計画および予算等)	〃
19	理事会(補正予算、平成31年度事業計画および予算等)	〃
27	評議員会(補正予算、平成31年度事業計画および予算等)	〃